

令和7年度校園内研修計画書・経過報告書

川場村立川場学園
校長 野原 亮
研修主任 茂木 稔

1 研修主題及び設定の理由

～研修主題～

主題 『非認知能力』を磨き高め合う児童の育成

副主題 ～学ぶ必要感を高め、他者とのつながりを生み出すギミックの工夫を通して～

子どもの実態との関わり

- ・昨年度、単元構想や課題の見だし方を工夫してきたことで、児童生徒は学習意欲を維持しながら、見通しをもって学習を進めることができるようになってきた。
- ・単元構想の工夫の中で、協働的な学びの場面を設定することがあったが、児童生徒は意欲的に取り組む一方で、他者の考えを参考にして自分の考えを深めたり、新たな視点を見いだしたりするという点においては課題が見られた。

指導の在り方や研修との関わり

- ・昨年度の成果を生かし、課題の設定や発問をギミックという形で工夫することによって、児童生徒の「学ぶ必要感」を高めることができるようにしていく必要がある。
- ・児童生徒が他者の意見を受容したり、自分の意見の質を高めたりするだけでなく、新たな視点を見いだしたりすることもできるよう、授業の中で、児童生徒が意欲的に対話・交流に向かうことができるよう働きかけていく必要がある。

2 研修内容・方法

(1) 具体化した目指す子ども像

【前期ブロック（1～4年生）】 自分の意見を持ち、他者の意見を受容できる児童

【中期ブロック（5～7年生）】 他者の意見を受容し、自分の意見の質を高められる児童生徒

【後期ブロック（8～9年生）】 他者の意見を受容し、自分の意見の質を高めたり、新たな視点や解決策を見いだしたりできる生徒

(2) 共通実践する手立て

- ・児童生徒の思いや願いを生かし、「学ぶ必要感」を高めることにつながるようなギミックを授業の中に位置づける。
- ・非認知能力の「他者とつながる力」の能力群に重点を置き、児童生徒の「他の人に話したい」、「他の人の意見を聞きたい」等の思いを引き出せるようなギミックを授業の中に位置づける。

3 研修計画・経過報告 <裏面>

4 これまでの研修の成果と今後の取組

○成果

・
・

○課題

・
・

○今後の取組

・
・

3 研修計画・経過報告

指 は、指導案検討 授 は、研究授業・授業研究会

月日	研修計画 [内容]	経過報告 [○研修の視点(上段)・明らかになったこと(下段)]
4.22	研修計画の確認 (推進委員会)	○研修主題や内容、方法について ・今年度の校内研修の方向性、研修主題や副主題、第1回校内研修の内容について確認した。
4.28 ①	主題設定、授業計画立案	○研修副主題・目指す児童生徒像の検討、部会の編成 ・研修の副主題や目指す児童生徒像について、決定に向けて部会ごとに意見を出し合った。また、代表授業者を決定した。
5.12 ②	研修主題の確定 具体的な研修の方向性の 共通理解	○研修副主題・目指す児童生徒像の確定、方向性の共通理解 ・前回に引き続き、研修副主題と目指す児童生徒像について意見を出し合い、確定した。また、文言について共通理解を図った。
6.2 ③	ブロック研修 指導主事訪問A授業説明・ 相談タイム	○ ・
6.4	指導主事訪問A	○ ・
7.7 ④	代表授業リフレクション 授 9年 倉澤教諭	○ ・
9.8 ⑤	指導主事訪問Bに向けた 指導案検討 指	○ ・
10.20 ⑥	指導主事訪問B模擬授業	○ ・
10.22	指導主事訪問B 授 7年 大根田教諭	○ ・
11.10 ⑦	研究紀要について	○ ・
12.8 ⑧	代表授業リフレクション 授 4年 白石教諭	○ ・
1.19 ⑨	研究紀要の修正	○ ・
2.9 ⑩	研究のまとめ	○ ・
3.16 ⑪	来年度に向けて	○ ・

5 資質向上研修

月日	研修計画 [内容]			実 施 内 容
	区 分	講 師		